

(様式2)

管内大規模農場における牛マイコプラズマ乳房炎の 発生と清浄化に向けた新たな取り組み

：伊那家畜保健衛生所 中村光

1 令和3年6月、酪農生産性向上対策事業によるバル
2 ク乳の全戸スクリーニング検査を実施。農場規模拡大
3 中の管内大規模農場（以下、A農場）において
4 *Mycoplasma bovis*（以下 *M. bovis*）を分離。7月、陽
5 性牛特定のため全頭検査を行い、368頭中30頭摘
6 発。早期摘発のため分娩後検査を実施し、4頭摘発。
7 A農場と清浄化に向けた検討会を開催し、陽性牛の隔
8 離を指導。また、血清学的に浸潤状況を把握するた
9 め、乾乳群と病畜群にELISA法を用いた抗体検査を行
10 い、乾乳群の75%が抗体陰性、病畜群の80.8%が抗
11 体陽性、細菌検査との一致率84.6%であることを確
12 認。11月に2回目の全頭検査を行い、447頭中新たに
13 27頭摘発。新規に摘発された牛の多くが病畜群であ
14 り、陽性牛を病畜群と一群で隔離飼養したことが原因
15 と考察。陽性農場における隔離方法の検討や個体乳及
16 びバルク乳の継続した検査の重要性を再確認すると共
17 に、抗体検査の有効性を示唆。